

長崎縣日中親善協議會

NEWS
TOPICS
COMMUNICATION
INFORMATION

NEWS

第

82

卷

発行/2026年(令和8年)3月



在上海長崎県人会との交流会

中華人民共和国駐長崎総領事館開設40周年記念訪問

2025年(令和7年)11月7日(金)~12日(水)

中華人民共和国駐長崎総領事館開設40周年

祝賀会

中華人民共和国駐長崎総領事館は、1985年（昭和60年）5月の開設から今年で40周年を迎えました。これを記念し、2025年（令和7年）6月、長崎市内のホテルにて祝賀会が開催されました。祝賀会には、呉江浩中国駐日本国特命全権大使をはじめとした大使館関係者、県内の中国ゆかりの団体など、約200名が出席し、中国駐長崎総領事館開設40周年を盛大にお祝いしました。

祝賀会に先立ち、大石知事と呉大使が会見し、経済・文化・観光など様々な分野で、長崎と中国との交流をさらに深めていくことについて意見交換を行いました。



祝賀会で挨拶をする大石賢吾知事



呉江浩大使との会見

記念訪問団

2025年（令和7年）11月、中国駐長崎総領事館開設40周年を記念して、大石知事を団長とする記念訪問団が、中国上海市、北京市を訪問しました。

訪問期間中、大石知事は楊万明中国人民対外友好協会会長と会見し、長崎県と中国との交流、地域間交流、両地域の人的往来の推進などについて意見交換を行いました。

また、在上海長崎県人会との交流会を実施し、これまでの長崎と中国との友好交流に対するご尽力に感謝の意を表するとともに、懇談を通じて親睦を深めました。



楊万明中国人民対外友好協会会長との会見



在上海長崎県人会との交流会

さらに、北京市において中国駐長崎総領事館開設40周年を記念した祝賀会を開催し、張大興前中国駐長崎総領事をはじめ、日中の友好交流促進にご尽力いただいている関係団体の皆様、現地で活躍されている経済界の皆様にご出席いただき、節目を共に祝いながら、親交をさらに深めました。

＜主な来賓＞

かなすぎけんじ	金杉憲治	駐中国日本国特命全権大使
ちょう だい こう	張大興	中国駐長崎総領事館第11代総領事
じょう か	轟佳	外交部アジア局参事官
えん びん どう	袁敏道	中国人民对外友好協会副会長
ちょう こう へい	張孝萍	中国人民对外友好協会東アジア部副主任
れい りん	黎林	福建省人民政府外事弁公室主任



張大興前中国駐長崎総領事(左)



袁敏道中国人民对外友好協会副会長(中央)と金杉憲治駐中国日本国特命全権大使(右)



金杉憲治駐中国日本国特命全権大使

総領事館見学会

2025年(令和7年)9月、長崎県立佐世保東翔高等学校の生徒が中国駐長崎総領事館を訪問する総領事館見学会が行われました。

見学会に参加した生徒たちは、総領事から長崎県や日本と中国との交流の歴史についての説明を受け、中国から見た長崎や日本の印象、食文化などについて意見交換を行いました。見学会終了後は、長崎孔子廟や興福寺など長崎と中国との歴史的つながりを感じられる長崎市内の施設を訪問し、長崎と中国との交流の歴史などについて理解を深めました。



陳泳総領事と長崎県立佐世保東翔高等学校の皆さん

2025年上海国際友好都市青少年サマーキャンプ

長崎県では、1996年(平成8年)10月に上海市と友好交流関係を締結し、文化、経済、観光のほか、青少年交流など多岐にわたる交流を行っています。上海国際友好都市青少年サマーキャンプは、国際的な視野を広げ相互理解を深めることを目的に、2010年(平成22年)から毎年夏に行われ、上海市と友好関係を結んでいる世界各国・地域の都市から100名を超える青少年が一同に集まり、中国語学習や中国の伝統文化体験、スポーツなどの様々な活動を通して交流を深めています。

主催 上海市教育委員会

日程 2025年(令和7年)7月9日(水)～7月22日(火)

参加者 長崎県立長崎北高等学校 2年 犬塚 ^{いぬつか} あおい さん

原田 ^{はらだ} さくら さん

引率 森山 ^{もりやま} ひろゆき 先生

内容 中国語の学習、中国の伝統文化の体験、東方緑舟でのレクリエーション活動、博物館見学、1日ホームビジット体験等

2025上海国際友好都市青少年サマーキャンプを終えて

長崎県立長崎北高等学校 2年 犬塚 ^{いぬつか} あおい

私たちは2週間、上海で18カ国の高校生とともに活動をしました。

中国人ボランティアの方々がとても友好的で、楽しく活動できました。また、様々な国の方が日本のアニメやマンガが好きだということを知り、驚きました。

上海は自然と調和した大都市でした。上海人の一日体験では、ボランティアの子の家におじゃまし、一緒にワンタンを作りました。始めて見る形でしたが、美味しく作れました。

ある日は、伝統衣装を着て、扇子を使った舞のレクチャーを受けました。しなやかに手を動かすのが難しかったです。

烏鎮では、染色体験をしました。藍色に染めて、輪ゴムでしばった所が白く色が抜けて、きれいでした。

東方緑舟では、様々な屋外アクティビティを行いました。中でも印象に残っているのは、竹でイカダを作ったことです。かなりハードでしたが、他の国の子と協力して楽しく作れました。

閉会式では、中国の伝統民謡「茉莉花」に合わせて、踊りを披露しました。

このキャンプを通して、もっと海外の文化を学んだり、海外の人と交流したいと思うようになりました。とても良い経験でした。



2025上海国際友好都市青少年サマーキャンプを終えて

長崎県立長崎北高等学校 2年 はらだ さくら 原田 桜花

私たちは博物館や大学を訪問して中国の歴史や最先端の技術を知ることができました。また、中国について学ぶ授業では影絵や焼箔画など中国の伝統文化を体験したりしました。その他にも海洋公園やいかだ作りなど屋外での作業や、シティクリエイタープロジェクトという自分が住んでいる街の課題の解決策を考え、それを発表するなど様々な経験ができました。

全ての活動の中で一番印象に残った時間はクルーズ船に乗ったときです。その日の最後の活動として、クルーズ船に乗り夜の上海の街を楽しみました。上海に来て約1週間後にあったこの活動が初めて全ての参加者が同じ場所に集まり自由に行動できた時間でした。たくさんの人と自己紹介をしあったり、一緒に写真を撮って連絡先を交換したりとみんなとの距離が縮まるきっかけになりました。1時間という短い時間があっという間で何時間にも感じられました。その日から1日1日、時間が過ぎるのが早く「みんなと離れたくない」という思いが強くなっていきました。



これらの活動を通して、私は以前よりも積極的に行動できるようになりました。初めの頃は自分に自信がなく、自ら話しかけることができませんでした。交流していく中で少しずつ自信を持てるようになり次第に楽しく会話やゲームをしていました。

しかし自分の英語力にはまだ課題がたくさんあると感じたので次にこのような機会があるときにもっと意思疎通ができるようこれからより一層勉強を頑張りたいと思っています。

周峰(しゅうほう)

中華人民共和国駐長崎総領事館領事アタッシェ
離任

2026年(令和8年)1月に、中華人民共和国駐長崎総領事館の周峰領事アタッシェが離任されました。

2022年(令和4年)10月に着任されて以来、3年あまりの間、業務ご多忙の中、当協議会の交流事業にも積極にご参加いただくなど多くのお力添えを賜りました。厚くお礼を申し上げますとともに、今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



周峰領事アタッシェ(右奥)離任挨拶

沈嘉輝(しんかき)

中華人民共和国駐長崎総領事館領事アタッシェ
着任

2026年(令和8年)1月に、中華人民共和国駐長崎総領事館の領事アタッシェとして着任されました。



氏名：沈嘉輝(しんかき)
性別：男
出身：浙江省
生年月日：2003年1月生

略歴：

2025年6月 北京外国語大学日本語学院卒業
2025年7月 中華人民共和国外交部
2026年1月 中華人民共和国駐長崎総領事館領事アタッシェ

長崎県中国語講座 中国駐長崎総領事館交流会

2025年(令和7年)7月21日(月)、中国駐長崎総領事館において、陳泳総領事をはじめ総領事館職員の皆様と長崎県中国語講座の受講生による交流会が開催され、受講生31名が出席しました。

当日は、初めに総領事館の施設見学、続いて陳泳総領事による中国の概況に関する特別講演が行われました。講演後の質疑応答では、受講生から陳泳総領事に対して、来日後の印象、中国の現状、日中交流、中国語学習の意義など、多岐にわたる質問が寄せられ、活発な意見交換の場となりました。

その後は、水餃子づくり体験やおいしさ満点の本場中国料理の夕食会を通じ、和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。

本交流会は、受講生にとって中国への理解を一層深めるとともに、日中友好および民間レベルでの交流の重要性を再認識する有意義な機会となりました。



長崎受講生の皆さん

長崎県中国語講座開講案内

2026年度(令和8年度)の中国語講座を長崎会場と佐世保会場にて開講いたします。中国に興味のある方、もう一度中国語にチャレンジしてみたい方など、皆様のご参加をお待ちしております。

長崎会場



開講期間：2026年(令和8年)5月～翌年3月
 開講時間：入 門 土曜日13:00～14:10
 初 級 土曜日14:20～15:30
 中・上級 土曜日15:40～16:50
 開講場所：長崎県勤労福祉会館(長崎市桜町)
 受講料：半年13,000円 年間26,000円
 (年会費3,000円、テキスト代実費)
 講 師：徐静(じょしずか)上海市出身
 連絡先：095-832-2878(長崎県国際課内)

佐世保会場



開講期間：2026年(令和8年)5月～翌年3月
 開講時間：①入 門 火曜日19:50～21:10
 ②初 級 火曜日18:20～19:40
 ③中 級 木曜日18:30～19:50
 開講場所：①②まちなかコミュニティセンター(常盤町)
 ③山澄地区コミュニティセンター(潮見町)
 受講料：年間22,000円
 (年会費3,000円、テキスト代実費)
 講 師：①②山口暁(やまぐちしょう)河南省出身
 ③趙麗(ちょうれい)南京市出身
 連絡先：0956-25-9647(佐世保市文化国際課内)

日中友好交流都市中学生卓球交歓大会

日中両国の友好と青少年の交流を目的とした日中友好交流都市中学生卓球交歓大会が、2025年(令和7年)8月4日(月)から8月6日(水)までの3日間、中国北京市で開催されました。

大会は、日中それぞれの友好都市から選手を出し合って編成され、長崎県からは「長崎県-福建省」「長崎県-上海市」「長崎県-湖北省」の3チームが出場しました。

選手たちは、言葉の壁を乗り越え、ジェスチャーや簡単な英語を使ってコミュニケーションを取りながら、試合中も互いに声を掛け合い、見事な連携プレーを見せてくれました。

出場選手

長崎県・福建省チーム

まつもとこうた
松本孝汰さん(佐世保市立吉井中学校3年)
おざきあいる
尾崎愛琉さん(長崎精道中学校3年)

大会
結果

第1グループ優秀賞
(グループベスト8)

長崎県・湖北省チーム

つじ かんた
辻 幹太さん(長崎市立土井首中学校3年)
まつむら ゆい
松村優季さん(長崎精道中学校1年)

大会
結果

第2グループ準優勝

長崎県・上海市チーム

ひでさからい や
秀坂來哉さん(大村市立桜が原中学校3年)
おおた
大田ゆうりさん(大村市立桜が原中学校3年)

大会
結果

第3グループ優秀賞
(グループベスト8)

選手の声

「中国の選手と協力し、戦うのはとても楽しかったです。」(尾崎さん)

「色々な卓球を見ることができ、たくさん学ぶことができました。」(松本さん)

「北京でいろいろな選手と交流をすることができ、とてもよい経験になりました。」(松村さん)

「中国の選手と試合をしたり、話したりすることでいろんなことを学ぶことができました。」(辻さん)

「中国の選手はとても強く、スポーツマンシップもあり、とてもかっこいいと思いました。」(大田さん)

「現地の中国の選手などとのふれあいの大切さを学びました。」(秀坂さん)



長崎県・福建省チーム



長崎県・湖北省チーム



長崎県・上海市チーム



日本人選手と中国人選手の混合ダブルス

第14回長崎県日中親睦卓球交流大会

2025年(令和7年)10月18日(土)、第14回長崎県日中親睦卓球交流大会が開催されました。

今年は、自治体、県内企業、中国人留学生、大学生・中高生、当協議会の会員など、多様な参加者が集まり、選手123名・28チーム、スタッフ15名の総勢138名が参加しました。

オープニングセレモニーでは、変面ショーが披露され、巧みな技と華やかな演出に会場から大きな拍手が送られました。

競技は、上級・中級・初級のクラスに分かれて行われました。白熱した試合が展開され、会場は終始活気にあふれていました。スポーツを通じて日中両国の民間レベルでの親睦と友好を深める貴重な機会となりました。

また、試合後に実施された「おたのしみ抽選会」も大変盛り上がり、参加者全員に大会記念タオルもプレゼントされました。

結果

A(上級の部)

優勝 鎮西学院大学
準優勝 長崎 SST-C
3位 長崎 SST-A

B(中級の部)

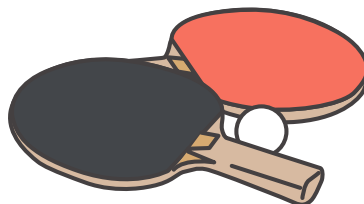
優勝 翼 TTC(男)
準優勝 交通局
3位 翼 TTC(女)

C(初級の部)

優勝 ララコープレッド
準優勝 ララコープブルー
3位 遊友クラブ



試合の様子



「第14回長崎県日中親睦卓球交流大会」参加者の皆さん

第52回中国人墓地清掃

1974年(昭和49年)に始まった中国人墓地清掃は、会員の皆様や地域の皆様などに支えられ、今年で52回目を迎えました。一昨年は雨天のため残念ながら中止となりましたが、2025年(令和7年)11月24日(月)、2年ぶりに清掃活動を行いました。

当日は、陳泳中国駐長崎総領事をはじめ、長崎華僑総会、長崎新華僑華人協会、長崎日本華僑婦女連合会、中国人留学生、当協議会会員、大学生、地元企業、協力団体など、約150名のボランティアの皆様に参加いただきました。

力を合わせて生い茂った力強い雑草と格闘しながら、鎌や手作業で約1時間半、汗を流して草取りを行い、雑草に覆われていた墓地は見違えるほどきれいになりました。

皆様のご協力に心から感謝いたします。

当協議会では、半世紀以上続くこの取り組みを、日中の友好を育む大切な活動として、今後も継続してまいります。引き続き、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

<主な参加協力団体>

中華人民共和国駐長崎総領事館、長崎華僑総会、長崎新華僑華人協会、長崎日本華僑婦女連合会、中国東方航空長崎支店、(一社)長崎青年会議所、(株)西日本シティ銀行長崎支店、(株)十八親和銀行稲佐支店、九電グループ、長崎大学、活水女子大学、鎮西学院大学、長崎県、長崎市、長崎県日中親善協議会会員

その他、多くの皆様に協力いただきました。



清掃活動の様子

令和7年度「中国人留学生との交流会」

2026年(令和8年)1月31日(土)、「中国人留学生との交流会」を開催しました。

今回は「食を通じた交流」をテーマに、36名の参加者が班に分かれて中国の家庭料理3品の調理に挑戦しました。初対面同士で簡単に自己紹介を交わしたあと、「手羽先のコーラ煮」「ニラ玉蒸し餃子」「トマト卵炒め」の調理がスタートしました。

講師を務めてくださったのは、長崎県立大学シーボルト校の研修員として昨年4月に来日された尤斌斌さんと長崎県国際交流員の李卉さんのお二人です。

実演を交えた丁寧な説明に、参加者は熱心に耳を傾け、各班へ戻ってからは教わったポイントを思い出しながら調理を進めました。

班は当協議会の会員と留学生が混合で構成されており、日本語と中国語が自然に交わる中、互いに助け合いながら調理を行いました。会場は終始和やかで、笑顔にあふれる温かい雰囲気になりました。

すべての料理が完成すると、いよいよ試食タイム。できたての料理を囲みながら、各テーブルで会話が弾み、国籍を超えた交流がいっそう深まりました。

食事の後は全員で後片付けを行い、留学生にとっては日本のごみ分別を学ぶ良い機会にもなりました。会員が分別方法を丁寧に説明し、留学生からは「とても勉強になりました」との声も寄せられました。

最後は全員で記念撮影を行い、交流会は温かい雰囲気のまま終了しました。解散時には連絡先を交換する姿も見られ、新たなつながりが芽生える貴重な場ともなりました。



令和7年度「中国人留学生との交流会」参加者の皆さん

一年の長崎、無限の出会い

長崎県立大学シーボルト校研修員 ゆうひんひん 尤斌斌

去年の4月、福建から長崎に来たばかりの頃は、この町で一年を過ごす実感がほとんどありませんでした。慣れない環境の中で日々を過ごすことに精一杯でしたが、今振り返ると、その一年は驚くほど短く、多くの出会いと気づきを重ねた、心に深く残る充実した時間だったことにあらためて気づかされます。

長崎の町を歩く中で、私は何度も「福建」に出会いました。福建通り、館内町にある福建会館、福州寺とも呼ばれた崇福寺、そして四海樓のちゃんぽんなどは、次第に自分にとって馴染み深い存在になっていきました。これらは、かつてこの地に福建出身の人々が暮らし、生活を営みながら交流を築いてきた歴史を今に伝えています。特別な目的がなく町を歩いている時に、そうした場所に自然と行き着くたび、長崎が東アジア交流の中で育まれてきた町であることを、実感を伴って感じるようになりました。



鄭成功生誕祭の会場にて

7月に平戸市川内町で行われた鄭成功生誕祭に参加したことも、この一年の中で特に心に残っている出来事です。福建省南安市にある鄭成功記念館を見学したことがあり、鄭成功が平戸で生まれたという事実自体は以前から知っていました。それでも、鄭成功児誕石や鄭成功記念館を実際に巡り、祭りの雰囲気の中で人々が鄭成功を大切に語り継いでいる様子に触れ、大きな感動を覚えました。中国では誰もが知る英雄が、日本の一地方の町で、身近な祭りという形で記憶されています。その光景を前に、歴史は教科書の中にあるだけではなく、人々の生活の中で生きているのだと強く感じました。

さらに、12月には福岡で行われた「学生対抗九州観光ビジネスプランコンテスト2025」の本選出場に選ばれ、審査員特別賞を受賞しました。12年ぶりに再び学生として授業を受ける日々はとても新鮮で、そこで生まれたアイデアをもとに、留学生の仲間たちとチームを組み、一つのプランを完成させていく過程は、結果以上に心に残る経験となりました。チームメンバーと意見を交わしながら最後までやり遂げた時間は、この一年を象徴する大切な思い出です。

こうして振り返ると、長崎で過ごした一年は、特別な出来事だけでなく、町を歩き、人と出会い、歴史や文化に触れる日常の積み重ねによって豊かになっていった時間でした。月日の流れはとても早く感じられますが、この町で過ごした経験や、この一年で得た学びや出会いを大切にしながら、帰国後も微力ながら長崎と福建の友好交流に貢献していきたいと考えています。この一年間、本当にありがとうございました。



九州観光ビジネスプランコンテストの会場にて



長崎駅より徒歩1分のランドマーク
ヒルトン長崎



〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4-2
T: 095-829-5111
www.hilton-nagasaki.com

Hilton
NAGASAKI

ようこそ、美食のホテルへ。
おいしいホテル ニュー長崎
お部屋は、お食事は、お掃除の楽しみが詰まったホテル。世界が誇る本格的な味をご堪能ください。



HOTEL NEW NAGASAKI
ホテルニュー長崎

〒850-0067 長崎市大南町14番6号
TEL:095-826-8000(代)
<https://www.newnaga.com/>



あなたの旅のお手伝い♪



日中悠友旅行 株式会社

〒850-0036 長崎市五島町5番36号 ☎095-811-0108

HSK
日本と世界で一番受けられている中国語検定
長崎で受験できます!

2026年

6/13 土 【申込受付期間】 4月13日～5月13日

11/7 土 【申込受付期間】 9月7日～10月7日

詳細はコチラ


お問合せ | HSK日本実施委員会 TEL.03-3269-6601
<https://hskj.jp>

令和8年度新規会員募集

長崎県日中親善協議会は、日本国と中華人民共和国との親善を図り、平等互恵の上に相互の文化交流、経済提携を促進し、世界の平和と繁栄を寄与することを目的として、昭和48年に設立されました。

友好交流事業では、中国人墓地清掃、中国語コンクール、中国語講座の開催等を行っております。当協議会の主旨に賛同される方を広く募集いたします。

- 年会費 個人会費 3,000円
法人会費 1口 10,000円～
- お問い合わせは当協議会まで

